

2020 年度実施概要

学校名

洋野町立林郷小学校

採択活動名

つながる自分 つなげる自分 ～ひろのの山・川・海・ひと～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 有家川について調べよう	3, 4	総合
2. 森林について調べよう	3, 4	総合
3. 酪農が盛んなのは何かをさぐる	5, 6	総合

取り組みの概要

洋野町大野地区の大地は、海成段丘で形成されていて高く険しい山がなく、比較的なだらかな土地が続いている。林郷地区は、その大地を生かして特に酪農の盛んな地域である。子ども達は自分の地域を気に入っていて、自然に恵まれた環境に満足している。

今後も今のような豊かな自然が保たれ、自然を生かした産業が続くためには、山、川、海そして人々との生活を結びつけて考えさせることが大切である。そこで、大テーマ「つながる自分 つなげる自分 ～ひろのの山・川・海・ひと～」と設定して、3年生から6年生までが、総合的な学習の時間をつかって系統性のある学びを展開できるようにした。

大地や気候の仕組みを調べたり聞いたり、実際に見学したりしてまとめることを主な学習にした。さらに学んだことから自分の生活を見直すきっかけにし、今後の生活に生かしていくこともねらいとした。低学年は生活科の学習で、海成段丘上に位置する「おおのキャンパス」に出かけ、動物にふれあったり、自然の中で遊んだりした。

【3、4年生】

★有家川について調べよう

まず学校の前を流れる有家川の様子を見に行った。川辺が草刈りをされていて整備されており、川を大切にしていることを感じさせることができた。また、川の



周りの観察では、周辺には畑や田が多いことに気づき、川は畑や田んぼに大切なものという意識をもたせることができた。次に「川はどこから流れてきて、どこに流れていくのか」という新たな課題をもたせた。まずは、講師をお招きし、川の始まりを知るための源流探索を行い、川の始まりは小さな水流が山からできていることを観察した。また、川の水を利用したダムが大野地区にあることを知り、川の水は流れていくだけでなく、貯めておくこともあり、生活とは人々の生活に結びついていることに気づかせることができた。

【3、4年生】

★森林について調べよう

川の源流を調べることで、山と川は結びついていることを理解させた。学校周辺は畑や田だけでなく低い山も多い。また、本校はかつての創立記念日に樹木を植え、それがそびえていることから樹木への関心も多い。そこで、樹木にはどんな種類があるのかを観察したり調べたさせたりした。



給食のイベントで木の食器で食べる日があることから、大野は木と生活も結びついているのではないかという新たな疑問をもたせ、木工加工会社に見学に行った。木工の加工品は大野の大事な産業であることを理解し、大野の産業を守るためには山を大切にしなければいけないという意識をもたせた。

林業を職業としている講師の方をお招きし、木を切ったり植えたりすることが山を守り、川を守ることにつながることをお話を、用意してくださったスライドから理解させることができた。

【5、6年生】

★酪農が盛んなのはなぜだろう？

講師の方をお招きし、大野海成段丘の成り立ちの歴史や仕組みについて詳しく学んだ。その学習の発展として、実際に目で確かめるために、段丘がよく分かる場所にでかけ、周りを観察したり、化石の発掘をしたりした。海からほど遠い地域で地中から化石が出てくることから、大野の土地は昔、海底であったことを実感し、理解させることができた。

大野の地形が酪農に本当に適しているのかを確かめるために、大野地区で実際に酪農を営んでいる方を見学して、話を聞いたり、酪農の様子を観察したりした。酪農と土壌の関係を理解させることができた。また、大野の気候が酪農に適していることを知り、「やませ」を含め、今の地球環境をこれ以上悪くさせないために、自分たちにできることについて考えさせることができた。

